

幾何学概論第一 (MTH.B211)

平面曲線の基本定理

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

<http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/geom-1/>

東京工業大学理学院数学系

2022/10/13

目標

定理 (平面曲線の基本定理)

区間 J 上で定義された C^∞ -級関数 $\kappa: J \rightarrow \mathbb{R}$ に対して弧長でパラメータづけられた C^∞ -級平面曲線 $\gamma: J \rightarrow \mathbb{R}^2$ で、その曲率関数が κ となるものが存在する。

さらにそのような曲線は向きを保つ等長変換を除いて一意である。

- ▶ 曲率が平面曲線を定める。
- ▶ たとえば $\kappa(s) = s$ は平面曲線の方程式を与えている。

フルネ枠

- ▶ $\gamma: J \rightarrow \mathbb{R}^2$: 平面曲線の弧長パラメータ表示.
- ▶ $\mathbf{e}(s) := \frac{d\gamma}{ds}(s)$: 単位接ベクトル.
- ▶ $\mathbf{n}(s) := R\mathbf{e}(s)$; $R = \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$.
- ▶ $\mathcal{F}(s) = (\mathbf{e}(s), \mathbf{n}(s))$: フルネ枠. $\mathcal{F}: J \rightarrow \text{SO}(2)$.

フルネの公式

命題 (フルネの公式 ; 命題 2.3)

次をみたす C^∞ -級関数 $\kappa: J \rightarrow \mathbb{R}$ がただ一つ存在する.

$$\frac{d\mathcal{F}}{ds} = \mathcal{F}\Omega \quad \Omega(s) := \begin{pmatrix} 0 & -\kappa(s) \\ \kappa(s) & 0 \end{pmatrix}.$$

曲率

定義

κ を γ の曲率関数, 曲率という.

命題

平面曲線の正則なパラメータ表示 $\gamma(t)$ に対して

$$\kappa(t) = \frac{\det(\dot{\gamma}(t), \ddot{\gamma}(t))}{|\dot{\gamma}(t)|^3}.$$

平面曲線の基本定理

定理 (平面曲線の基本定理)

区間 J 上で定義された C^∞ -級関数 $\kappa: J \rightarrow \mathbb{R}$ に対して弧長でパラメータづけられた C^∞ -級平面曲線 $\gamma: J \rightarrow \mathbb{R}^2$ で、その曲率関数が κ となるものが存在する。

さらにそのような曲線は向きを保つ等長変換を除いて一意である。

問題 2-1

問題

区間 J で関数 $\kappa(s)$ が次で与えられるとき、 $\kappa(s)$ を曲率にもつ弧長によりパラメータ付けられた曲線 $\gamma(s)$ で、指定された条件を満たすものの具体的表示を求めなさい。

1. $\kappa(s) = a$ (定数), $J = \mathbb{R}$; $\gamma(0) = {}^t(a, 0)$, $\dot{\gamma}(0) = {}^t(0, 1)$.
2. $\kappa(s) = 1/(1 + s^2)$, $J = \mathbb{R}$; $\gamma(0) = {}^t(0, 1)$, $\dot{\gamma}(0) = {}^t(1, 0)$.

問題 2-2

問題

関数 $\kappa(s) = a \cos s + b$ (a, b は定数) を曲率関数にもち、弧長 s によりパラメータ表示された平面曲線を $\gamma_{a,b}(s)$ と書く.

1. $\mathbf{e}_{a,b}(s) := \dot{\gamma}_{a,b}(s)$ とおくとき、 $\mathbf{e}_{a,b}(s + 2\pi) = A_{a,b}\mathbf{e}_{a,b}(s)$ となる直交行列 $A_{a,b}$ を求めなさい.
2. $b = 1$ のとき、 $\gamma_{a,1}(s + 2\pi) = A_{a,1}\gamma_{a,1} + \mathbf{a}_{a,1}$ となる $\mathbf{a}_{a,1}$ を a を用いて表しなさい.